

小海高等学校生活指導係発行

校外巡視より

4月以来、生徒諸君の登校に合わせて駅周辺や通学路の巡視と交通安全指導を行っています。気が付いたこと、感じたことを今回は取り上げたいと思います。あいさつがきちんとできる生徒諸君が多く、さわやかに1日がスタートできます。こちらを気にしながらあいさつをされれば応えてくれる生徒、駅員さんや地域の方、知らない人であってもあいさつができる生徒、さまざまです。いいことですから、朝の習慣として自然にできるようにしましょう。

残念ながら服装が整っておらず、注意をしなければならない時もあります。朝の一番から「ネクタイをしなさい」「シャツを入れなさい」などと言われるのは少なくとも良い気分ではないはずです。注意する方も同じです。玄関を出る前に自分の服装を確認して登校してください。



駅構内や近くの公園では、たばこの吸い殻やペットボトル、その他のランチごみがよく落ちています。もちろん本校生とは限りませんが、ごみは持ち帰ることが当たり前のご時世にあって、なぜこのようなことが平気のできるのか理解に苦しみます。また、先週は宮下地区側からの通学路にペットボトルの他、かなり多くのごみが捨てられていました。清美委員が通学路にごみ箱を設置したり、生徒会役員が通学路・駅清掃を行っている一方で、該当者が本校生だとしたら大変恥ずべき迷惑な行為です。自分のごみでなくても気づいたら片付けましょう。

南佐久地区教育長懇談会が行われました

5月10日に各町村の教育長さんにご来校いただき、授業参観に続いて「小海高校を支援する会」と「懇談会」が行われました。学校での教育活動は地域の方の理解と協力なくしては効果をあげることができません。通学路の整備や冬期の除雪など、小海高校は特に地域の方から手厚い支援を受けている高校です。

会議の席では、本校から教育長さんへのお願い、地域の方から本校生への要望などを毎年意見交換しています。本校が地域に根ざした学校として応援していただけるのは、多くの先輩たちが地域からの期待や要望に応じてきた結果です。地域の方への感謝の気持ちを忘れず、その気持ちを行動に表せるようになりましょう。

